

# 熱中症の恐れがある会員に対する処置（フロー図）

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で  
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

## ■緊急連絡先

- ①救急（119番通報）  
119 または #7119
- ②シルバー人材センター  
0283-23-7765  
※土日祝日は緊急電話へ
- ③家族・親戚・知人

- ①熱中症のおそれのある者を発見
- ②自覚症状のある者

### 熱中症が疑われる症状例

#### 【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣等

#### 【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等

作業離脱、身体冷却

意識の異常等

「意識の有無」だけで判断するのではなく、

- ①返事がおかしい
- ②ぼーっとしている


など、普段と様子がおかしい場合も異常等ありとして取り扱うことが適当。

判断に迷う場合は、安易な判断は避け、#7119等を活用するなど専門機関や医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐこと。

救急隊要請

異常等あり

異常等なし

自力での水分摂取 

できない

できる

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。

（単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する）

医療機関への搬送

経過観察

回復しない、症状悪化

回復

回復

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

# “いつもと違う”と思ったら、**熱中症**を疑え

あれっ、  
何かおかしい

手足がつる

立ちくらみ・めまい

吐き気

汗のかき方がおかしい

汗が止まらない／汗がでない



これも  
初期症状

何となく  
体調が悪い

すぐに  
疲れる

あの人、  
ちょっとヘン

イライラしている

フラフラしている

呼びかけに反応しない

ボーッとしている

**すぐに周囲の人や現場管理者に申し出る**

## 手順や連絡体制の周知の一例



【朝礼やミーティングでの周知】



【会議室や休憩所などわかりやすい場所への掲示】

件名：本日はWBGT値が28°Cを  
超える見込みです

皆様お疲れ様です。  
本日のWBGT基準値は0°Cです。  
作業時には充分に気をつけて、  
水分補給及び休憩をしっかりと  
お願いします。  
体調不良が発生した場合は、  
フロア図に基づき対応いただき、  
〇〇さん(000-0000-0000)へ  
連絡するようお願いいたします。  
それでは本日もよろしくお願  
いいたします。



【メールやイントラネットでの通知】

**具合が悪くなったら無理をせず、すぐ連絡を！**